

平成29年度 公益財団法人 日本体操協会

第2回理事会議事録

1.日 時 平成29年9月16日（土） 13時00分～14時30分

2.場 所 岸記念体育会館 103会議室

3.出席者 <理事>

二木会長、塚原副会長、山本専務理事、遠藤常務理事、水鳥常務理事、
塚原千恵子常務理事、山崎常務理事、竹村常務理事、加納理事、村木理事、
福井理事、田中理事

12名

<欠席>

具志堅副会長、石崎副会長、竹内常務理事、中田常務理事、
米田常務理事、荒木理事、田坂理事

7名

<監事>

竹田監事

1名

<監事>欠席 高橋監事

1名

4.議題

4. 1. 審議事項

- (1) 専務理事 登録選手のマーケティング活動規定の改定について
- (2) 専務理事 2020アジア選手権立候補の件
- (3) 審判委員会 新体操女子国際審判講習会 Cコース開催について
- (4) 総務委員会 刊行物などの監修規程改定について
- (5) 広報委員会 世界選手権委員派遣（変更）及びTV解説者について
- (6) 地域委員会 平成29年度ビジネススクール受講希望者について

4. 2.報告事項

- (1) 平成29・30年度顧問候補者について
- (2) 第35回世界新体操世界選手権結果報告
- (3) 第47回男子体操世界選手権選手団報告
- (4) 第47回女子体操世界選手権選手団報告
- (5) 第32回トランポリン世界選手権選手団報告
- (6) 第25回トランポリン世界年齢別選手権選手団報告
- (7) 平成29年度協会三賞準備開始の件
- (8) 障がい者体操に関する専門部設置について
- (9) 平成29年度特任コーチングスタッフ決定について
- (10) 事務局分担表について
- (11) 故・岡新体操審判本部長合同葬について
- (12) 2020 東京オリンピック計画現状報告

5.二木会長挨拶

本年度より、理事会を6月、9月、12月、翌年3月の年4回開催とする。
新体操世界選手権では、すべての出場種目でのメダル獲得となり、
42年ぶりの個人種目別及び団体での銅メダルを含む4個のメダル
獲得。体操男女・トランポリンも10月から11月に世界選手権が開催され
る。こちらも当初目標をクリアーするべく頑張っている。

6.権限審査

本日、理事会の出席者は12名であり、定款第7章第39条の定足数
10名を超えているので本会議は合法的に成立していることを渡邊
事務局長より報告した。

7.議長就任

定款第7章第38条の定めるところにより、二木会長が議長に就任した。

8.議事録署名人

議長は、議事録署名人として議長と山崎常務理事の2名を指名し、
議場に諮り、全員が賛同した。

なお、出席の竹田監事は定款第43条第2項の規程により、理事会
議事録に記名押印することとなる。

9.審議事項

第1号議案 登録選手のマーケティング活動に関する規定の改定について

山本専務理事は、資料に則り、登録選手のスポンサー契約/肖像権使用契約に関する規程の改定内容を説明した。

①個人肖像を販売することについて、事前に事務局に申請し、承認を得ること。

イ；競技者マーケティング活動に関する事前申請書 計画段階

ロ；スポンサー契約に関する事前申請書 スポンサー契約前段階

②体操協会の指示するマーケティングルールを守ること。

・販売不可カテゴリー：政治・宗教/ギャンブル（公営競技を除く）等

・日本代表スポンサーの競合会社（カテゴリー）

契約手数料について

・各競技の体操日本代表スポンサーと契約する場合

個人協賛についての契約手数料は受領しない。

・各競技の体操日本代表スポンサー以外と契約する場合

別途協議する。他 NF 等の状況等を調査する。

対象選手について

・体操、新体操、トランポリンのナショナル強化選手（ジュニア含む）

議長は、山本専務理事の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第1号議案は原案通り、承認・可決された。

第2号議案 2020アジア選手権立候補の件

山本専務理事は、資料に則り、2020アジア選手権立候補の件につき、下記のとおり、説明を行った。

種目：体操・新体操・トランポリン

開催時期：2020年5月1日～10日

開催場所：東京・有明体操競技場（予定）

開催理由

2020東京オリンピックの予選を兼ねている重要大会であり、地元催により、大陸出場枠獲得を有利に進めるため

概算予算 約1億円 toto 助成等を含め、収支ゼロを目論む

議長は、山本専務理事の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第2号議案は原案通り、承認・可決された。

第 3 号議案 新体操女子国際審判講習会 C コース開催について

竹内審判委員長欠席により、山本専務理事より、資料に則り、新体操女子国際審判講習会 C コース開催について、下記のとおり、説明を行った。

開催趣旨 国際審判の育成と国内の審判技術の向上

開催期日 2018 年 1 月 15 日～19 日

開催会場 幕張セミナーハウス

参加者数 40 名

参加費用 宿泊なし 88,000 円、宿泊あり 146,000 円

日本体操協会スタッフ（審判本部・強化部・コーチ育成部） 18 名

全国レベル審判経験一般公募資格あり 17 名

世界選手権・オリンピック経験者（研修受講条件） 5 名

議長は、山本専務理事の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 3 号議案は、原案どおり、承認・可決された。

第 4 号議案 刊行物などの監修規程の改定について

遠藤総務委員長より、次の説明があった。

刊行物等の監修規程⇒ 刊行物等の認定規程

改定理由は、現規程における「監修・推薦」の要望がなく、新しい評価段階として「公認」を設け、協会関係者だけでなく、幅広く、「体操コミュニティ」を広げる機会を設けるため。

議長は、上記の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 4 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 5 号議案 体操世界選手権委員派遣（変更）および TV 解説者について

田中広報委員長は、次のとおり、説明を行った。

広報委員会より、田中光、藤井俊明、明名明子の 3 名の承認を貰っていたが藤井氏が会社都合で派遣できなくなり、遠藤常務理事を代わりに派遣。

(9/28-10/7)

テレビ放送解説者は男子が米田 功常務理事、女子が大島杏子氏

議長は、渡邊事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った。特に意見もなく、第 5 号議案は、原案通り承認・可決された。

第 6 号議案 平成 29 年度ビジネススクール受講希望者について

小竹地域委員長より、下記の説明を行った。

講座開講期間：平成 29 年 9 月下旬～12 月末

各都道府県協会からの推薦者

秋田県 松本友憲氏 29 歳

東京都 山上晴子氏 36 歳

東京都 末廣美佳氏 28 歳

三重県 前田憲一氏 31 歳

熊本県 岡 洋平氏 32 歳

以上 5 名の推薦があった。

議長は、以上の説明を受けて、質問・意見の有無を確認し、議場に諮った
特に意見もなく、第 6 号議案は、承認・可決された。

議長は以上を以って、審議事項を終了した旨、報告し、他の議題あるかを
議場に諮った。

特に提案議題がなかったため、報告事項に移った。

10.報告事項

第 1 号 専務理事：平成 29-32 年度顧問候補者について

山本専務理事より、下記の報告を行った。

徳田虎雄、吉田 夏、松田治廣、丸山伊三保、平岡英信、河合敏男、
池田敬子、千葉敬伍、田中武彦、秋間健男、笹田茂和、八島 正、
笠松 茂、梶山広司、五日市亨児、岡村輝一、大島斎礼、早田卓次、
柳 善二郎、加藤澤男、瀧澤康二、関田史保子、竹田幸夫、塩野尚文、
長谷川輝紀、小竹英雄、渡辺守成 以上 27 名
ご本人に確認後、正式に委嘱を行う。今後、通常の役員改選時に審議する。

第 2 号 新体操：第 35 回世界新体操選手権ペサロ大会（8/30-9/3）結果報告

山崎新体操本部長より、下記の報告を行った。

<団体総合>銅メダル 総合 36.650

フープ：18.400、ロープ&ボール 18.250

<団体種目別決勝>

フープ 銅メダル 18.600、ロープ&ボール 銀メダル 18.650

<個人総合>皆川夏穂 5位入賞 喜田純鈴 12位 (90人中)

<個人種目別決勝>

フープ 皆川夏穂 銅メダル、 喜田純鈴 7位

ボール 皆川夏穂 8位

大会リザルトを詳細に説明、団体イタリアとの差について、採点規則について、詳細補足説明があった。(両手キャッチ・片手キャッチの減点等)

第3号 男子体操：第47回世界体操選手権代表選手団報告

水島本部長より、次の報告があった。

監督 水島寿思

コーチ 畠田好章 (日本体育大学) 佐藤寛朗 (リンガーハット)
原田睦巳 (順天堂大学) 武内祐樹 (相好体操クラブ)
斎藤 卓 (筑波大学) 新宅裕也 (徳州海体操クラブ)

選手 内村航平 (リンガーハット) 白井健三 (日本体育大学)
安里圭亮 (相好体操クラブ) 宮地秀享 (茗溪クラブ)
谷川 航 (順天堂大学) 亀山耕平 (徳州会体操クラブ)

トレーナー 今井聖晃、中島 啓

ドクター 土肥美智子 (JISS)

サポートスタッフ 平瀬戸龍二、宮元義史、佐藤佑介

栄養スタッフ 長谷川尋之 (松本大学)

・サポートスタッフ、ドクター、栄養スタッフはJSC,JISS負担

第4号 女子体操：第47回世界体操選手権日本選手団報告

塚原本部長より、下記の報告を行った。

団長・監督 塚原千恵子 チームマネージャー 奥主貞子

コーチ 瀬尾京子 (日本体育大学) 塚原直也 (朝日生命)
速見佑斗 (セイント体操クラブ) 塩山 勝 (専任コーチ)

選手 村上茉愛 (日本体育大学) 杉原愛子 (朝日生命)
宮川紗江 (セイント体操クラブ) 寺本明日香 (中京大学)

トレーナー 齋藤和宏、森岡 望

第 5 号 トランポリン；第 32 回世界トランポリン選手権代表選手団報告

中田本部長欠席のため、山本専務理事より、下記のとおり報告があった。

トランポリン男子

伊藤正樹（東栄住宅）
棟朝銀河（エアリアルドリーム）
岸 大貴（ポビンズ）
堺 亮介（星稜クラブ）
谷口遼平（静岡産業大学）補欠

タンブリング男子

杉浦祥太郎・杉浦隼平（鈴岡産業大学）、木澤元太（キタイスポーツ）

トランポリン女子

森ひかる（金沢学院大学）
岸 彩乃（金沢学院大学）
高木裕美（金沢学院大学）
名倉沙織（テン・フォーティ）
中野蘭菜（星稜クラブ）補欠

団長 山本宜史 男子コーチ 中田大輔 女子コーチ 丸山章子
コーチ 藤池亮太、人見雅樹
トレーナー 千葉宗博、高山智美
審判 武藤真也、 福井直哉
ドクター 今井一博
タンブリング代表コーチ 杉浦正隆

第 6 号 トランポリン：第 25 回世界年齢別大会日本代表選手団報告

中田男子本部長欠席のため、山本専務理事より、報告があった。

団長 原田利夫

トランポリンコーチ 石田正人、伊藤勇木、北居宏基、
井上涼子

トレーナー 池田彰久

審判 平松朋法、小澤麻衣

タンブリング競技

コーチ 長澤弘明、 審判 福井直哉

ダブルミニトランポリン

コーチ 杉浦正隆、審判 武藤真也

タンブリング選手 11-12 才女子 杉浦姫菜

13-14 才女子 杉浦夢菜

17-21 才男子 又吉健斗

角倉慧一郎

ダブルミニトランポリン

11-12 才女子 佐藤友咲

第7号 総務委員会：平成29年度「協会三賞」贈呈準備開始の件
遠藤委員長は下記の説明を行った。

表彰日：平成30年2月10日（土）予定

平沼賞・栄光賞・感謝状：推薦者 会長

功労賞：加盟団体へ推薦を依頼する。

推薦依頼書発信 10/2、推薦候補者名集約 11/30、審議 12/16 理事会

第8号 地域委員会：障がい者体操に関する専門部設置について

小竹委員長は下記の説明を行った。

趣旨：近年、多くのスポーツ団体が障がい者スポーツの環境を整備しており、
障がい者体操についての方向性を検討するため、専門部設置する。

委員：小竹英雄、竹内輝明、田坂利明、村木啓造、半澤恵一
田野辺満、渡邊 榮

- ・知的障がい者を中心とするのか、一般障がい者をどうするか、パラリンピックの種目は、どうなのか、いろいろご意見が出て、今後、これらも専門部で検討し、成案をまとめる予定。

第9号 事務局；2017年度特任コーチングスタッフ決定について

渡邊事務局長より、資料に則り、説明を行った。

体操男子 畠田、佐藤、武内、斎藤、原田、米田 6名

体操女子 瀬尾、塚原、速見、坂本 4名

新体操 山口 1名

- ・世界選手権日本代表が決定したので、代表選手の直接のコーチに今年度限りで、日本体操協会負担で謝金を支払う。10月分より

第10号 事務局：事務局業務分担表について

渡邊事務局長より、資料に則り、業務分担表を説明した。

都道府県体操協会、加盟団体等に配布し、業務効率化を図って
いきたい。

第11号：事務局：故・岡新体操審判本部長合同葬について

渡邊事務局長より、本年2月に上記合同葬が執り行われた。

常務理事会の承認を受けて、今般、日本新体操連盟と日本体操協会の費用負担が確定した。それぞれ、468,200円となった。

第12号：遠藤スポーツマネージャー2020東京オリンピック計画現状報告

遠藤スポーツマネージャーより、2020東京オリンピック組織委員会の現状報告を行った。

体操競技の日程案につき、個人総合の決勝をトランポリン競技をはさんで、トランポリン競技後に実施し、体力負担軽減を検討中。

F I Gの承認を得て、I O Cへ提出予定他。

11.閉 会 議長は、すべての事項の終了を確認し、14時30分に閉会を宣言した。

平成29年9月16日

議 長 二木 英徳

議事録署名人 山崎 浩子

議事録署名人 竹田 幸夫